

現地の各作物の生育状況と今後の管理について

【県全体の概要】

1 水稲

(高温・小雨の影響や、渇水の状況)

- ・ 育苗期間の高温により、もみ枯細菌病が平年より多く発生した地域があった。
- ・ 水稲作柄概況調査によると、県全体の田植え作業の始期 5/7 (平年 5/8)、盛期 5/16 (平年 5/15)、終期 5/29 (平年 5/27) であり、ほぼ平年並みに進んだ。
- ・ 一部地域では水不足により移植時期の遅れや移植不能田が発生したが、県全体としての影響は少なかった。
- ・ 移植後の生育は、高温・小雨の影響が少なく、概ね順調。
- ・ 農業総合センターの「コシヒカリ」の生育調査 (6月23日時点) では、本部 (郡山市) は草丈が 40.1 cm (平年比 96%)、茎数が 645 本/m² (平年比 112%)、葉齢は 8.9 葉 (平年差+0.2 葉) であった。会津地域研究所 (会津坂下町) は草丈が 42.0 cm (平年比 91%)、茎数が 718 本/m² (平年比 107%)、葉齢が 8.5 葉 (平年差-0.8 葉) であった。浜地域研究所 (相馬市) は草丈が 43.7 cm (平年比 87%)、茎数が 703 本/m² (平年比 95%)、葉齢が 9.0 葉 (平年差-0.2 葉) であった。

表 1 農業総合センターにおける水稲「コシヒカリ」の生育状況

調査場所	移植期 (月・日)	6月23日調査			
		草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	主稈葉数 (枚)	葉色 (SPAD502 値)
本部	5.15	40.1 (96%)	645 (112%)	8.9 (+0.2)	44.1 (+5.0)
会津地域研究所	5.20	42.0 (91%)	718 (107%)	8.5 (-0.8)	41.7 (+0.7)
浜地域研究所	5.11	43.7 (87%)	703 (95%)	9.0 (-0.2)	43.9 (+2.3)

注 1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注 2) 括弧内の数字は、会津地域研のコシヒカリでは前 4 年平均 (2021, 2023~2025 年)、それ以外では前 5 年平均 (2021~2025 年) との比較

(今後の管理)

- ・ 水管理 (飽水管理等)、出穂期追肥の判断、斑点米カメムシ類の適期防除を指導する。

2 畑作物

(高温・小雨の影響や、渇水の状況)

- ・ 麦は高温・小雨による影響は少ない。
- ・ 大豆の出芽は良好。
- ・ 農業総合センターの大豆 (標播) の生育調査 (6月24日現在) によると、出芽日数

は、本部（郡山市）は平年並、会津地域研究所（会津坂下町）は平年より1日早く、浜地域研究所（相馬市）は平年より2日遅かった。

表2 農業総合センターにおける大豆（標播）の生育状況（6月24日現在）

調査場所	品 種	播種期 (月.日)	出芽期 (月.日)	出芽日数 (日)
本 部	タチナガハ	6. 1 (−1)	6.10 (−1)	9 (±0)
	里のほほえみ	6. 1 (−1)	6.10 (−1)	9 (±0)
会津地域 研 究 所	あやこがね	6. 1 (±0)	6. 8 (−1)	7 (−1)
	里のほほえみ	6. 1 (±0)	6. 8 (−1)	7 (−1)
浜 地 域 研 究 所	タチナガハ	6.11 (+4)	6.19 (+6)	8 (+2)
	里のほほえみ	6.11 (+4)	6.19 (+6)	8 (+2)

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) 括弧内の数字は、前5年平均（2021～2025年）との比較

(今後の管理)

- ・ 大豆について、開花期以降の畝間かん水の実施を指導。

3 野菜

(高温・小雨の影響や、渇水の状況)

- ・ 現時点では大幅な減収となるような高温・乾燥による障害はなく、概ね平年並みの生育となっている。
- ・ 軽微な影響については、5月中旬や6月中下旬の梅雨入り前の高温時に、施設きゅうりやトマトの葉焼け、いちご苗の萎れやランナー先枯れなどが発生した。比較的会津地域で発生が多く、浜通りでは一部葉茎菜類に影響が見られたが、果菜類への高温・乾燥による影響は無かった。
- ・ 害虫の発生が平年よりやや早い傾向で、特にアブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類が増加傾向であり、高温に転じた際の発生増加が懸念される。

(今後の管理)

- ・ かん水や施肥による草勢維持や遮光・遮熱資材の活用、病虫害防除の徹底を指導する。

4 果樹

(高温・小雨の影響や、渇水の状況)

- ・ 春先の高温により、全域的に開花が平年より1週間から10日程度前進した。生育初期は果実肥大が伸び悩んだ地域もあるが、現在は概ね解消された。
- ・ 果樹研究所における7月1日付けの果実肥大を暦日で比較すると、もも「あかつき」

は縦径が 57.4mm で平年比 114%、側径が 60.1mm で平年比 121%、なし「幸水」は縦径が 36.7mm で平年比 105%、横径が 45.8mm で平年比 110%、りんご「ふじ」は縦径が 49.6mm で平年比 107%、横径が 52.9mm で平年比 107%といずれも平年より大きい状況である。満開後の日数で比較すると、「あかつき」は平年よりやや大きく、「幸水」「ふじ」は平年並である。

表3 農業総合センター果樹研究所における果実肥大状況

品目	果実肥大			
	縦径 (mm)	平年比 (%)	横径※ (mm)	平年比 (%)
もも「あかつき」	57.4	114	60.1	121
なし「幸水」	36.7	105	45.8	110
りんご「ふじ」	49.6	107	52.9	107

※ももは側径

(今後の管理)

- ・かん水や草刈り、マルチ等による土壌水分の保持、適期収穫、適切な病虫害防除の実施、日焼け対策を指導する。ハウスぶどうにおける換気など暑熱対策の実施を指導する。

5 花き

(高温・小雨の影響や、渇水の状況)

- ・生育のばらつきがあり、コギク、トルコギキョウ、宿根カスミソウでは、生育や開花が前進傾向だが、全体としては、現時点では高温・少雨の影響は少ない。
- ・害虫の発生は平年よりやや早い傾向。アブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類、リンドウホソハマキ等の発生が見られるが、大きな被害とはなっていない。

(今後の管理)

- ・かん水の実施、ハウスにおける遮光・遮熱資材の活用、病虫害防除の徹底、カルシウム剤の散布等について指導する。

1 水稻（6月26日現在）

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
<p>県北 農業振興普及部</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/19 現在の作柄判定ほの生育調査の結果は以下のとおり 草丈:44.7cm (107%)、茎数:598本/m² (137%)、葉数:9.0 (+0.5) 葉色 (SPAD 値) : 39.3 (-3.3) ※ () 内は平年差・比 ・高温・少雨となった場合、白未熟粒の発生や斑点米カメムシ類・紋枯病等の病虫害の多発による減収、品質の低下が懸念される。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管内全体の田植えの進捗は平年並であったが、一部の地区では代かき、移植のための十分な用水がなく、移植時期が遅くなった。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飽水管理、出穂期頃の追肥
<p>伊達 農業普及所</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗期間の高温により、細菌性病害（もみ枯細菌病）が平年より多く発生し、2,000枚程度まき直しが行われたため、一部では田植えが計画より遅くなった。 ・田植え後の高温により、藻類・表層はく離が多く発生している。また、ガスわきによる初期生育の抑制が一部で発生している。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月中旬の少雨により、小河川から取水している水田、天水田で、代かき作業を遅らせた事例があった。現在は渇水の影響は見られない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水管理等基本技術の徹底。葉色の極端な低下が見られる場合の追肥、出穂後の飽水管理の実施。
<p>安達 農業普及所</p>	<p>○高温・少雨の影響 (安達農業普及所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稻の生育は概ね順調で、茎数は平年並み。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部地域では用水量が減少し、降雨に頼る比率が高まっているが、降水量が少なく配水に苦慮していたが、現在は渇水の影響は見られない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無効分けつの発生を抑制するため有効茎数が確保でき次第、中干しを実施するよう指導する。

農林事務所 普及部・所	生育、病害虫発生状況等、今後の管理（高温対策）
県中 農業振興普及部	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草丈が長く、分けつはやや多いなど旺盛な生育となっている。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点では影響なし。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追肥（ケイ酸資材、穂肥）、葉色低下に応じた追肥、斑点米カメムシ類の適期防除、高温時の飽水管理の徹底、適期刈取
須賀川 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗期の高温により、籾枯れ細菌病の発生が多い傾向。 ・箱処理剤の使用により、被害は甚大ではないが、例年よりもイネミズゾウムシやイネドロオイムシの発生が多い傾向。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須賀川市西部の一部地域で、移植期に水不足により移植が遅れた事例がある。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水管理（飽水管理）、ケイ酸追肥、斑点米カメムシ類対策
田村 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月～6月中旬まで、水不足により生育の遅れ、葉先枯れが散見された。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用水不足により、山間ほ場で田植作業の遅れ、作付不能水田が散見された。（作付不能となった水田は10～20ha程度見込み） <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生育に応じた施肥、登熟期の飽水管理、病害虫防除対策の徹底を周知する。

農林事務所 普及部・所	生育、病害虫発生状況等、今後の管理（高温対策）
<p>県南 農業振興普及部</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植栽培の生育は平年並み （草丈：平年並、茎数：平年より多い、葉齢は平年並） ・乾田直播：入水開始 ・羽鳥ダム(6/15 時点の貯水率 46.8%)水系は水量が不足し、一部で中干状態の水田がみられる。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/15 時点の貯水率(羽鳥ダム46.8%、西郷ダム51.3%、犬神ダム69.3%、赤坂ダム95.6%)いずれも平年より少ない。羽鳥ダム水系では、用水不足の影響が一部見られる。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追肥やケイ酸資材の散布、水管理による登熟促進、適期刈取の実施。
<p>会津 農業振興普及部</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗期の高温や強風などの影響により、籾枯れ細菌病や苗立枯病などが管内全域で見られた。 ・表層はく離や藻の発生が目立っている。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点で、渇水の情報が入っていない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水管理の徹底 ・出穂期追肥の実施判断
<p>喜多方 農業普及所</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植時期や土壌還元等により生育のバラツキが大きい。 ・藻類や表層剥離の発生が多かった。 また、ヒエやコナギの生育が早く残草も多い <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のところ影響はない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水管理：出穂期の湛水管理、登熟期の飽水管理、落水時期等 ・追肥：生育診断に基づくつなぎ肥や実肥 ・斑点米カメムシ対策：出穂前の草刈や適期防除

農林事務所 普及部・所	生育、病害虫発生状況等、今後の管理（高温対策）
会津坂下 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草丈は平年より長く、茎数もやや多い状況であり、今後の生育状況により倒伏に注意が必要である。 ・ガス湧きや、表層剥離等で生育が抑制されているほ場もある。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新宮川ダムの貯水率は平年を下回っているが、計画水位は上回っており、現段階では大きな問題はない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飽水管理の実施（水源の有効活用） ・必要に応じた穂肥の実施（栄養凋落の防止） ・斑点米カメムシの防除実施
南会津 農業振興普及部	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高温、少雨の影響は特になし。 ・田植え盛期は5月24日（平年比＋1日）、終期は5月31日（平年比＋1日）となった。5月下旬に移植したほ場の生育は平年並みで、目立った病害等の発生は見られない <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飽水管理の徹底。
相双 農業振興普及部	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗期の靱枯れ細菌病、移植後の藻類・表層剥離の発生が多かった。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飽水管理の実施 ・凋落防止のための追肥の実施

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
双葉 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年同様、最高気温で25℃を超えるような高温日が見られ、異常還元による根傷みや藻類の発生が多くのは場で見られる。一方で、最高気温が15℃～17℃程度の低温日も見られ、分けつの増加は、連続する高温日により旺盛だった近年と比較して緩慢である。 ・定期的な降雨があり、現時点で少雨の影響は見られない。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な降雨があり、現時点で渇水の影響は見られない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水および高温対策として、分けつ確保後は基本的には飽水管理とする。
いわき 農業振興普及部	<p>○高温・小雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登熟期間中の飽水管理や出穂期頃に葉色の低下が見られた場合には窒素追肥を指導する。 ・斑点米カメムシ類対策を指導する。

2 畑作物（6月26日現在）

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
<p>県北 農業振興普及部</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆：播種は概ね終了。夏季の高温・小雨となった場合、落花、落莢や不稔莢の発生が懸念される。 ・そば：7月下旬より播種が開始される見込みである。 ・畑作物全般：高温となった場合、雑草の生育が旺盛になり、雑草防除がより難しくなることが懸念される。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆については高温・小雨への対策として畝間かん水を周知しているが、水稻との用水の競合が生じるために実施が難しい地区がある。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畝間かん水
<p>伊達 農業普及所</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <p>（小麦）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼穂形成期や出穂期が早まった。出穂期に降雨がなく、赤かび病の発生は少なかった。収穫作業は6月中旬頃に終了した。 <p>（大豆）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月下旬に出芽を確認した。出芽は良好である。現時点では目立った病虫害の発生は見られていない。帰化アサガオ類の発生が目立っている。 ・開花期頃に高温・少雨になると、昨年同様、着莢数の減少、子実肥大不良が懸念される。 <p>○渇水の状況</p> <p>（大豆）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渇水の影響は見られない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆：開花期以降の畝間かん水の実施。薬剤による病虫害防除の実施。
<p>安達 農業普及所</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麦は高温の影響により、収穫適期が早まっている。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麦は、適期収穫を指導する。 ・大豆は、晩播と狭畦播種の組合せや摘心、開花期前後の灌水等、各生産者の実施可能な技術を指導する。

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
県中 農業振興普及部	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> 大豆は、降雨の影響により播種が遅れている。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 現時点では影響なし。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> 保水ポリマー資材の実証（大豆）
須賀川 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> 大豆：播種は概ね終了し、苗立ちも良好であるが、開花期以降の花落ちや子実の肥大不良、吸実性カメムシによる被害が懸念される。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> 中耕培土の徹底、畦間灌水、虫害対策
田村 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> 小麦、大豆では特に影響は見られていない。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に影響は見られていない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大豆の中耕培土、追肥、病虫害防除の適期実施を周知する。
県南 農業振興普及部	<p>○高温・少雨の影響</p> <ol style="list-style-type: none"> 小麦 収穫期。登熟は緩慢であった。赤かび病の発生が見られる。 大麦 6月上旬から収穫開始。6割収穫終了。 雑草繁茂・倒伏により収穫を断念したほ場一部あり。 大豆 播種時期は6月中旬。湿害等の影響は少なく、出芽は順調 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在のところ、渇水の影響はない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大豆：少雨時は畦間かん水

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
会津 農業振興普及部	<p>○高温・少雨の影響</p> <p><麦類></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大麦・小麦の生育が1週間程度早まり、6月中旬に収穫が行われた。 <p><大豆></p> <ul style="list-style-type: none"> ・播種作業は平年並みに進み（6月4半旬で播種作業終了）、出芽も良好。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点で、渇水の情報は入っていない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <p><大豆></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開花期以降のかん水 ・高温少雨時の暗渠の閉鎖
喜多方 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆：6月中旬から播種作業が始まったが、出芽は良好。 ・夏ソバ：出芽・生育ともに良好。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のところ影響はない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆：開花期以降の畝間灌水 ・夏ソバ：適期播種・収穫
会津坂下 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麦類は、前年より成熟が10日程度早まっている（成熟期、大麦；6月10日頃～、小麦；6月20日頃～）。赤かび等の病虫害の発生はみられず、また、イタリアンライグラスが優先化（雑草化）した圃場を除いて、生育収量は概ね良好である。 ・大豆は、平年並みの6月上旬より播種が行われている。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麦類；適期の刈り取り（梅雨時期の刈遅れ防止） ・大豆；かん水可能なほ場では、積極的なかん水の実施

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
南会津 農業振興普及部	<p>○高温・少雨の影響 （大豆）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 ・播種は終了。出芽、初期生育とも良好。連作ほ場でアレチウリや帰化アサガオ類の発生が目立つ。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <p>【大豆】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水不足（乾燥）時の畝間かん水の実施。 <p>【そば】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播種時期の移動による、高温時期の回避。
相双 農業振興普及部	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆では開花期の畝間かん水の実施
双葉 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <p>【麦類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稻同様、高温の影響はここ数年間と比較して少ない。6月に入ってから気温は過去5年平均と比べて低く、子実の成熟および乾燥が緩慢である。 ・定期的な降雨があり、現時点で小雨の影響は見られない。今後も雨天が見込まれ、適期収穫の難航が予想される。 <p>【大豆】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/中旬～6/下旬に播種予定であり、麦類と同様、作業の難航が予想される。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な降雨があり、現時点で渇水の影響は見られない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麦類：刈遅れにならないように収穫する。高温によって子実水分が急速に減少することは指導会にて生産者に伝達済み。 ・大豆：適期播種、適期防除を指導する。夏季に高温が想定される場合、水利が確保できるほ場では畝間湛水を指導する。

農林事務所 普及部・所	生育、病害虫発生状況等、今後の管理（高温対策）
いわき 農業振興普及部	<p>○高温・小雨の影響</p> <p>【麦・そば】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>【大豆】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月下旬の小雨の影響により、一部地域で播種を遅らせた生産者が見られた。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <p>【大豆】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除草剤や中耕による雑草対策や発生予察情報を参考に病害虫対策を指導する。 ・畝間かん水や明渠への通水を指導する。

3 野菜（6月26日現在）

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
<p>県北 農業振興普及部</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きゅうり、ミニトマト、いちごのいずれも、現時点で、高温・少雨等の影響はみられない。 ・露地きゅうり：5月下旬及び6月上旬の苗配付時期に低温に遭い定植後の活着が遅れ、萎れた株が散見されたが、現在は回復している。現在19節程度。（6/19現在） ・いちご：数は多くないが鱗翅目の幼虫が早くから出現している。収穫はほぼ終了し、現在は次作用の苗取りを実施中。ランナーは現在1株あたり16本ほど出ている。炭疽病防除を重点的に指導。 ・ミニトマト：生育は概ね順調。4月中旬定植苗は、7段花房が開花し、一部では収穫が始まっている。目立った病虫害の発生は見られない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かん水、適期収穫、草勢維持（不良果の摘果、追肥・かん注の適期実施等）、遮光・遮熱資材の活用、害虫防除等
<p>伊達 農業普及所</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <p>（きゅうり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウス栽培（雨よけ）では、5月18、19日の高温により、一部で芯焼けや葉焼けが発生した。アブラムシ類が多く、特に露地栽培では、ウイルス病に起因する急性萎ちょう症の発生が懸念されている。 <p>（いちご）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親株のランナー数は現在30本前後、2～3番苗まで発生していて例年並の生育。高温による子苗の萎れや枯れ、ランナー先枯れの発生が散見される。また、定植期前後の高温により、花芽分化の遅れにつながる懸念がある。 <p>（ミニトマト）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウス内の高温により、花落ちをはじめ、日焼け果、着色不良果等の発生が懸念される。 <p>（アスパラガス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウス内の高温により、曲がり、穂先の開き等の不良茎の発生が懸念されたが大きな問題とはなっていない。 ・少雨により害虫類の発生には注意が必要である（アザミウマ類、ハダニ類、アブラムシ類等）。 <p>○渇水の状況</p> <p>（きゅうり、いちご、ミニトマト、アスパラガス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渇水の影響は見られない。

農林事務所 普及部・所	生育、病害虫発生の状況等、今後の管理（高温対策）
伊達 農業普及所	<p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きゅうり：ハウス栽培においては、遮光・遮熱シート設置、白黒マルチによる地温上昇軽減、簡易ノズルによる細霧冷房装置の活用等。（きゅうり後作のシュンギクは、播種時期を調節し、高温の影響を低減する。） ・いちご：育苗床における遮光・遮熱資材の活用、適期定植に向けた頂花房の花芽検鏡、耕種的防除や化学的防除による重要病害虫防除の徹底。 ・ミニトマト：妻窓、サイド換気の実施、施設天井への遮光シート（遮光率 30 %）の展張 ・アスパラガス：妻窓、サイド換気の実施、施設天井への塗布剤散布
安達 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果菜類全般において、アザミウマ類、アブラムシ類、カメムシ類等の発生が平年より多い。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高温時期のかん水・かん注を実施するよう指導する。 ・遮光・遮熱資材の設置や高温対策資材（葉面散布剤、バイオスティミュラント資材、吸水ポリマー等）の導入を指導する。
県中 農業振興普及部	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トマトは、平坦部では第 6 花房開花・第 1 果房収穫開始、山間部では第 3 花房開花で、生育は順調。現時点では高温・小雨の影響なし。平坦部ではアザミウマ類、コナジラミ類の発生が見られる。 ・アスパラガスでは、施設栽培では夏芽収穫中、露地栽培では立茎中であり、生育は例年通り。アザミウマ類、アブラムシ類の発生が見られる。一部で茎枯病が発生している。 ・きゅうりでは、梅雨入り前、一時の高温の影響で、夏秋（雨よけ）栽培の一部ほ場で芯やけが見られたが、現在では、特に高温、少雨の影響はなし。 5月下旬～6月上旬の高温の影響で、夏秋（雨よけ）きゅうり等でアザミウマ類の発生ほ場が多い。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点では影響なし。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生育及び天候に応じた小まめなかん水（少量多回数）の実施 ・遮光資材の有効活用

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
須賀川 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月の高温・乾燥により施設きゅうりで一部葉やけが発生した。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月の高温・小雨により、露地きゅうり、露地なすの定植後の活着がやや遅れたが、現在は回復している。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設きゅうり、トマトについては、白黒ダブルマルチ、遮光・遮熱資材、外気導入、ミスト等による高温対策を行う。 ・露地きゅうり、なすについては灌水、カルシウム資材による高温対策を行う。
田村 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月上旬～6月中旬ピーマンの尻腐れが散見された。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に影響は見られていない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少量多回数かん水、高温障害対策としてカルシウム剤施用の推進を行う。 ・遮光遮熱資材や自動かん水装置導入の推進を行う。
県南 農業振興普及部	<p>○高温・少雨の影響</p> <p>(1) トマト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黄化葉巻病耐病性品種の導入により、果実着色が緩慢。収穫開始期は平年より1週間程度遅い。 ・6月上旬から収穫本格化(4月定植:7～8段目、5月定植:4～5段目開花) ・コナジラミ類の発生は例年より少ないが、黄化葉巻病の発生は例年より早く、6月中旬から徐々に増加している。 ・梅雨明け以降、高温が続くと、耐病性が打破され、黄化葉巻病の被害が急激に拡大する恐れがある。 <p>(2) キュウリ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・露地の定植は5月中旬～6月上旬。出荷は6月下旬から開始。生育は順調だが、べと病、アザミウマ類、ウリハムシ、ネコブセンチュウの発生が出始めている。 <p>(3) ブロッコリー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春ブロッコリーは6月末まで出荷。一部空洞化が発生。 ・梅雨明け後、秋ブロッコリーの定植期に高温・乾燥が続くと活着、生育不良の被害拡大が懸念される。 <p>(4) イチゴ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親株のランナー鉢受作業は、6月中旬から開始。

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
<p>県南 農業振興普及部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生育は概ね順調だが、一部ほ場で炭疽病が少発している。「ふくはる香」、「ゆうやけベリー」で発生が多い傾向。 ・うどんこ病は「ふくはる香」、「紅ほっぺ」で中発。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、渇水の影響は見られてないが、梅雨明け以降、かん水量が増加するため、用水の確保は重要。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トマト、キュウリ：かん水、追肥、遮光、換気、病虫害防除の徹底。 ・ブロッコリー：定植時期を遅らせる。定植後の灌水、保水資材の活用 ・イチゴ：育苗中の病虫害防除（特に炭疽病防除）の徹底。
<p>会津 農業振興普及部</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定植時期における高温の影響により、一部のハウス栽培において葉焼けが発生した（ばんだイトマト）。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点で、渇水の情報が入っていない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な灌水の実施 ・遮光・遮熱資材の使用
<p>喜多方 農業普及所</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスパラガス：半促成栽培で夏芽の収穫中、露地栽培で立茎中。病虫害はアザミウマ類の発生が平年より多い。 ・きゅうり：高温の影響で葉焼けが発生している。小雨による影響で乾燥気味のは場が多く、一部ほ場でうどんこ病が見られた。 ・ミニトマト：4月上旬定植で9～10段開花、1～3段目収穫中で生育は平年並。アザミウマ類の発生が一部で見られる。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のところ影響はない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かん水：こまめなかん水 ・草勢維持：不良果の摘果や追肥、葉面散布による草勢維持 ・遮光等：遮光・遮熱資材の設置、ハウス換気 ・病虫害防除：発生状況に応じた適期防除

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
会津坂下 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きゅうりは、生育・出荷量ともに概ね平年並。平年より病害は少ないが、べと病、うどんこ病が一部で発生。害虫の発生は平年より早まっており、アブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類、ウリノメイガが、定植初期から見られる。 ・トマトは、生育は概ね平年並みで、6月下旬より出荷開始。高温により多くのは場で葉焼けが見られ、セル苗定植したところでは定植直後に葉焼けが発生し生育が遅れが見られた。目立った病害はなく、アザミウマ類、オオタバコガの発生が見られる。 ・さやいんげんは、平年並～数日程度生育が早まっている。目立った病害の発生はなく、害虫は定植直後からハダニ類、アブラムシ類の発生が目立つ。 ・アスパラガスは、概ね平年並の生育で、春芽の出荷量も平年並。6月上旬より夏芽の出荷が開始された。高温乾燥のため茎枯病等の病害は平年より見られず、害虫ではアザミウマ類、ハダニ類が早くから見られる。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かん設備が整っていないところでは、水分不足による葉焼け・樹勢低下等が見られる <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遮光資材等を利用した高温対策の実施 ・こまめなかん水の実施
南会津 農業振興普及部	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高温、少雨の影響は特になし。 <p>【トマト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定植が早いほ場で4段目が開花している。出荷開始は7月5日頃の見込み（平年比－3）。生育は平年並みか少し早まっている。 ・一部ほ場でかいよう病、アブラムシ類の発生が見られる。 <p>【アスパラガス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウス栽培は、夏芽の収穫が始まった（ほぼ平年並み）。 ・露地栽培は立茎中。 ・ハウス栽培でアザミウマ類、ハダニ類、斑点病が見られる。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遮光、遮熱資材・塗布剤の使用。

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
相双 農業振興普及部	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果菜類では、少量多回数のかん水、遮光・遮熱資材の活用やミスト散布、不良果の摘果、葉面散布等による草勢維持 ・ブロッコリーやネギ等の露地野菜では必要に応じてかん水実施を誘導
双葉 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タマネギ：生育は順調である。春先の高温の影響により、アザミウマ類が発生しているが生育への影響は少ない。 ・カンショ：生育は平年並みで順調に生育している。5/中旬～イモキバガの発生が確認されているが、高温による生育への影響はみられない。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いちご：遮熱剤の塗布・ヒートポンプの利用・ミスト噴霧 ・トマト：ミスト噴霧、裂果しにくい品種への変更 ・ピーマン：白色寒冷紗によるハウス被覆
いわき 農業振興普及部	<p>○高温・小雨の影響</p> <p>【いちご】【トマト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>【ねぎ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播種後の高温多湿の影響により、一部生産者において発芽不良が見られた。また、育苗期においても苗焼けの症状が一部で発生した。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <p>【いちご】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遮光資材の活用や、換気・通風の徹底を指導する。 <p>【ねぎ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高温期の土寄せ作業を避けることや、病虫害の早期防除を徹底するため、作業スケジュールについて指導する。 <p>【トマト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜かん水や被覆資材へ遮熱剤の塗布を提案する。

4 果樹（6月26日現在）

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
<p>県北 農業振興普及部</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もも・なしでは、4月2半旬から5月4半旬までの少雨で新梢の伸びが抑えられている。 ・もも：「あかつき」の果実肥大は平年より大きく推移している。硬核期間中の降雨の影響等により、変形果、核障害が増えてきている状況である。早生品種「はつひめ」の収穫は昨年より早い。 ・なし：「幸水」の果実肥大は満開日数比較でやや小さく推移している。ナシ黒星病の発生は収まっているものの、今後は、雨天日の日数が多くなると見込まれ、生育後半の発生がやや懸念される。 ・りんご：花芽分化率が低く、最終着果量が少なくなる園地が見られる。そのため、長果枝にも着果させ、樹勢の維持を行っている。青実果等の発生が多く見られているが、病虫害の発生は少ない傾向で推移している。 ・ぶどう：「巨峰」等はジベレリン処理が適期に行われたが、「シャインマスカット」等の開花が遅い品種では、開花期に低温になったため、生育遅延が見られ、ジベレリン処理が遅れ、花振るいしている園地が散見される。また、強風等の影響により、果実のスレ傷等が発生している。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乾燥が続く場合はかん水を行う。
<p>伊達 農業普及所</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春季の高温により、「もも」で生育が平年よりも6～8日程度早まり、作業の遅延が多く見られる。 ・「りんご」では、結実不良の園地が散見される。昨年7月の高温が花芽分化に影響した可能性がある。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渇水の影響は見られない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土壌の乾燥防止（かん水、稲わらマルチ、草刈り） ・適期収穫の実施 ・病虫害防除の徹底（カメムシ類第1世代、モモハモグリガ、ナシヒメシンクイ）
<p>安達 農業普及所</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウスブドウの開花状況にばらつきが大きく、早い園地では5月中旬に開花したところがある。 ・ナシ、リンゴの果実の肥大には今のところ影響は出ていない。

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
安達 農業普及所	<p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・露地栽培ではほ場近くに水源がない園地が多く、元々かん水を実施していない生産者も多い。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高温乾燥が続く場合はかん水を実施する。 ・ハウスブドウにおいては換気を行う。
県中 農業振興普及部	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本ナシ、ブドウともに平年より1週間程度生育が早い。着果数・着房数は確保できている。肥大状況は満開後日数で平年並。現時点では高温の影響なし。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点では影響なし <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かん水、適期収穫徹底（樹種共通） ・ナシ「豊水」のみつ症軽減を目的とした、カルシウム資材の葉面散布の実施（今年度から防除暦に掲載）
須賀川 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月の高温・小雨により結実が多かったニホンナシを中心に、やや肥大に遅れが見られたものの、現在は解消している。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かん水が可能なほ場ではかん水、かん水が難しいほ場では草刈り、早めの摘果作業を実施する。 ・日焼けの可能性を考慮し、着果位置を調節する。

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
田村 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> りんごは暦日比較で平年よりやや大きい。ただし、果台枝新梢は6月1日の時点でほぼ100%停止しており、平年と比較し葉数は少ない傾向にある。今後、梅雨期間中の降雨により二次伸張すると思われる。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> りんごは、梅雨期前までは、乾燥状態が続いていたが、現在は回復傾向にある。 ハウスぶどうは、気候に関わらずかん水しており影響はない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> りんごは、梅雨期以降、SSを使用し園内へのかん水を啓発する。 ぶどうは、大型のカサをかけることを啓発する。
県南 農業振興普及部	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ナシ、モモ、リンゴともに開花が平年より早く、暦日比較の場合、果実肥大は平年より進んでいる。(満開後日数比較は平年並み。) カメムシ類(特にチャバネカメムシ)の発生が多く、5月中旬以降、食害の被害が見られる。 ナシは、黒星病の発生が見られるが、多発はしていない。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 断続的に降雨があり、土壌水分も適度にある状況。 梅雨明け以降、高温・乾燥が続くと、用水を確保できない場合は、灌水不足の恐れがある。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> かん水、病虫害防除の徹底
会津 農業振興普及部	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> 高温の影響により、1週間～10日程度生育が早まっている。 カキ「会津身不知」のごく一部で葉焼けに似た症状がみられている。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 現時点で、渇水の情報は入っていない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> かん水、草刈り 傘かけ、袋かけ（ぶどう）、ハウスぶどうの場合はハウスの換気 新梢管理（カキ）

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
喜多方 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春先から気温が高く推移したことで生育が1週間程度早まっているが、大きな影響は出ていない。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のところ影響はない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かん水：土壌乾燥時のかん水 ・草刈り：5～7cm程度の草丈を目安にした適切な草生管理 ・病虫害防除：高温時の葉焼け等薬害防止の為、早朝等の防除実施
会津坂下 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リンゴでは、満開日が平年より12日早まっている。目立った病虫害の発生はみられていない。生育が早まっているため摘果作業が遅れている園地が散見される。 ・カキでは、満開日が平年より11日早まっている。目立った病虫害の発生はみられていない。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草生管理やかん水の実施
南会津 農業振興普及部	<p>○高温・少雨の影響 (リンゴ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高温、少雨の影響は特になし。 ・リンゴの果実肥大は良好であるが、一部で霜によるさび果発生。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 <p>○今後の管理（高温対策等） (リンゴ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乾燥状態が続く場合は、かん水を指導する。 ・夏期せん定、着色管理等については、状況に応じ指導する。 ・ハダニ類の発生について確認し、適期防除について指導する。

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
相双 農業振興普及部	<p>○高温・少雨の影響 （日本なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期肥大がやや小さい傾向にあったが、5月下旬以降は十分な降雨があり、平年並～大きくなっている。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高温・乾燥時におけるかん水や新梢管理の徹底 ・早期収穫による日焼け果・過熟果の発生抑制 ・病虫害の発生状況や予察に基づいた適期防除
双葉 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生育が平年よりも数日前進しており、害虫の発生が散見されるが、今のところ高温による影響はほとんどない。 ・定期的に降雨があるため、小雨の影響はほとんどない。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な降雨があり、現時点で渇水の影響は見られない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウスブドウ：寒冷紗・遮光幕や循環扇の設置、ハウス内の換気など
いわき 農業振興普及部	<p>○高温・小雨の影響 【日本なし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開花期の高温により、条溝果が散見される。 <p>○渇水の状況 【日本なし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>○今後の管理（高温対策等） 【日本なし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月から日焼け防止資材として果面を保護するカルシウム剤の散布を実施するよう指導する。 ・株元への稲わらマルチにより、乾燥防止対策に努める。 ・条溝果への対策は、仕上げ摘果や修正摘果の中で積極的に間引くように指導する。

5 花き（6月26日現在）

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
<p>県北 農業振興普及部</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コギク：8月咲き品種は、定植期以降の降水量が前年よりもやや少なく、生育はやや停滞気味となっている。9月咲き品種は、前年よりもやや草丈が短い。 ・アザミウマ類、アブラムシ類の発生が見られている。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かん水、適期管理、草勢維持、害虫防除等、涼しい時間帯の防除と収穫
<p>伊達 農業普及所</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（きく）秋植え作型（6月出荷）で開花が10日程度早まった。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（きく）かん水設備のないほ場で生育の遅れが見られる。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シクラメン等の鉢花においては、遮光資材の活用
<p>安達 農業普及所</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アザミウマ類の発生が平年より多い。 ・コギクの一部の品種が平年より開花がやや早まる見込み。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者は降雨が少ない時期において、各自畝間かん水や散水等を実施している。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高温時期における適期かん水を指導する。 ・高温対策資材（葉面散布材等）の導入や遮光・遮熱資材の設置を指導する。

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
<p>県中 農業振興普及部</p>	<p>○高温・少雨の影響 （トルコギキョウ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月下旬の急な高温により、チップバーンが発生しているほ場が昨年より多く散見されたが、現時点では発生は少なくなっている。 ・アザミウマ発生ほ場が多い（5月下旬～6月上旬の高温の影響か）。 ・ハウスのため小雨の影響はなし。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点では影響なし <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遮光・遮熱資材等の利用によりハウス内の気温低下を図る（品目共通） ・ロゼットした株についてはジベレリン処理による生育促進を図る（トルコギキョウ） ・ピンチを実施し、開花時期の調整を図る（トルコギキョウ）
<p>須賀川 農業普及所</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月の高温の影響によりコギクにはアザミウマ類による生長点のケロイド症状や葉裏のかすり傷がみられた。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虫害対策 ・高温、乾燥時における灌水
<p>田村 農業普及所</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キク類は5月中下旬定植の9月出しで下葉焼けが多発したが、現在の生育は概ね良好である。 ・りんどうでは、萌芽や生育のバラつき（4月）、葉先枯れの発生（4～5月）、一部ほ場でハダニ類やリンドウホソハマキの発生前進（5月上中旬）がみられた。現在は害虫の発生は抑えられ、生育も概ね順調である。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に影響はない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病虫害防除対策、カルシウム剤散布、かん水の徹底を周知する。

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
<p>県南 農業振興普及部</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <p>(1) ダリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・露地の定植は6月上旬完了。4月～5月定植株の生育は、例年より7日程度早い。概ね順調。(3月定植(施設)：二番花収穫中、4月定植(露地)：一番花収穫、5月定植(露地)：一番花発雷) ・オオタバコガ、アザミウマ類、ハムシ類は小発生。 <p>(2) シクラメン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五寸、六寸ともに定植は6月末に完了。順次鉢上げ。 ・病虫害の発生は少ない。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、渇水の影響は見られない。 ・梅雨明け以降、高温・乾燥が続くとダリア(露地)への生育に影響が出る恐れあり。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かん水、草勢管理、病虫害防除の徹底
<p>会津 農業振興普及部</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高温の影響により、冬越しのトルコギキョウ及び宿根カスミソウで生育が前進している <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点で、渇水の情報が入っていない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遮光・遮熱資材の使用 ・循環扇や目の粗い防虫ネットの使用による換気の改善
<p>喜多方 農業普及所</p>	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トルコギキョウ：無加温半促成の出荷は6/1から始まり、例年よりやや遅い出荷となっている。 ・その他花き：高温・少雨による影響はでていない。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のところ影響はない。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かん水：こまめなかん水 ・草勢維持：葉面散布による草勢の維持 ・遮光等：遮光シート等の被覆、ハウスの換気 ・病虫害防除：発生状況に応じた適期防除

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生状況等、今後の管理（高温対策）
会津坂下 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・露地ギクの8月咲き5月小雨の影響で平年に比べ草丈が短い。 ・宿根カスミソウは、平年より10日程早い開花となっている。 ・アザミウマ類、ハモグリバエ類は5月上旬頃から発生している。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・露地ギクでは、積極的な畝間かん水の実施 ・宿根カスミソウでは、積極的なかん水の実施を基本に、遮光・遮熱資材の設置や目合いが広い防虫ネットへの転換等の実施
南会津 農業振興普及部	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高温、少雨の影響は特になし。 <p>【リンドウ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生育は順調であり、平年並みとなっている。極早生品種は6月12日より出荷開始、前年より1週間ほど早い。 ・一部ほ場で葉枯病、リンドウホソハマキ、アザミウマの発生が見られる。 <p>【宿根カスミソウ】・東部地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越冬株は6月5日より出荷開始。 ・新植株の生育は順調に進んでいる。 ・越冬株ほ場を中心にハスモンヨトウ、ハモグリバエ、ハダニ類、アザミウマ類の発生が見られる。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <p>【リンドウ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遮光幕設置の実証ほを設けるとともに、畝間かん水を指導する。 <p>【宿根カスミソウ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遮光幕の導入推進、高温に強い品種の導入推進を行う。

農林事務所 普及部・所	生育、病害虫発生状況等、今後の管理（高温対策）
相双 農業振興普及部	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コギクにおいてアブラムシ類やアザミウマ類の発生が多い。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遮光、遮熱資材の活用 ・循環扇等を活用した換気の実施 ・ミストかん水装置等を活用した気化冷却
双葉 農業普及所	<p>○高温・少雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トルコギキョウ：春先に高温となったことから、アザミウマ類の発生が目立つが、高温による生育への影響はほとんどみられていない。 <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トルコギキョウ：遮光・遮熱資材、循環扇の設置、高温条件ではほ場が乾燥しやすいため、気象条件に応じた灌水管理の実施。
いわき 農業振興普及部	<p>○高温・小雨の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>○渇水の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>○今後の管理（高温対策等）</p> <p>【リンドウ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遮光資材の活用、配布した防除暦をもとに病害虫防除を指導する。 <p>【トルコギキョウ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウスへの遮熱資材被覆、換気、循環扇の設置を促す。